

介護保険法施行規則における地域包括支援センターの人員等の基準と条例（案）との対比表

■ 幕別町の条例名：(仮称) 幕別町地域包括支援センターの基準に関する条例

条項	項目	介護保険法施行規則 条文	基準の類型	条例案 ※規則に委任 する場合含む	基準設定にあたっての考え方								
<p>第百四十条の六十六</p>	<p>職員に係る基準及び員数</p>	<p>(法第十五条の四十六第五項の厚生労働省令で定める基準)            第百四十条の六十六 法第十五条の四十六第五項の厚生労働省令で定める基準は、次の各号に掲げる基準に応じ、それぞれ当該各号に定める基準とする。            一 法第十五条の四十六第四項の規定により、地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数について市町村が条例を定めるに当たって従うべき基準 次のイ及びロに掲げる基準            イ 一の地域包括支援センターが担当する区域における第一号被保険者の数がおおむね三千人以上六千人未満ごとに置くべき専らその職務に従事する常勤の職員の員数は、原則として次のとおりとすること。            (1) 保健師その他これに準ずる者 一人            (2) 社会福祉士その他これに準ずる者 一人            (3) 主任介護支援専門員（第百四十条の六十八第一項に規定する主任介護支援専門員研修を終了した者をいう。）その他これに準ずる者 一人            ロ イの規定にかかわらず、次の(1)から(3)までのいずれかに掲げる場合には、地域包括支援センターの人員配置基準は、次の表の上欄に掲げる担当する区域における第一号被保険者の数に応じ、それぞれ同表の下欄に定めるところによることができる。            (1) 第一号被保険者の数がおおむね三千人未満の市町村に地域包括支援センターを設置する場合            (2) 市町村の合併の特例等に関する法律（平成十六年法律第五十九号）第二条第二項に規定する合併市町村又は地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百八十四条第一項に規定する一部事務組合若しくは広域連合であって、イの基準によっては地域包括支援センターの効率的な運営に支障があると地域包括支援センター運営協議会（指定居宅サービス事業者等（法第二十二條第三項に規定する指定居宅サービス事業者等をいう。）又はこれらの者に係る団体の代表者、居宅サービス等の利用者又は第一号被保険者若しくは第二号被保険者の代表者、地域住民の権利擁護を行い又は相談に応ずる団体等の代表者、地域における保健、医療又は福祉に関する学識経験を有する者等のうち、地域の実情を勘案して市町村が適当と認める者により構成されるものをいう。(3)及び次号ロにおいて同じ。)において認められた場合            (3) 市町村の人口規模にかかわらず、地理的条件その他の条件を勘案して特定の生活圏域に一の地域包括支援センターを設置することが必要であると地域包括支援センター運営協議会において認められた場合</p> <table border="1" data-bbox="533 1193 1370 1469"> <thead> <tr> <th>担当する区域における第一号被保険者の数</th> <th>人員配置基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おおむね千人未満</td> <td>イの(1)から(3)までに掲げる者のうちから一人又は二人</td> </tr> <tr> <td>おおむね千人以上二千人未満</td> <td>イの(1)から(3)までに掲げる者のうちから二人（うち一人は専らその職務に従事する常勤の職員とする。）</td> </tr> <tr> <td>おおむね二千人以上三千人未満</td> <td>専らその職務に従事する常勤のイの(1)に掲げる者一人及び専らその職務に従事するイの(2)又は(3)に掲げる者のいずれか一人</td> </tr> </tbody> </table>	担当する区域における第一号被保険者の数	人員配置基準	おおむね千人未満	イの(1)から(3)までに掲げる者のうちから一人又は二人	おおむね千人以上二千人未満	イの(1)から(3)までに掲げる者のうちから二人（うち一人は専らその職務に従事する常勤の職員とする。）	おおむね二千人以上三千人未満	専らその職務に従事する常勤のイの(1)に掲げる者一人及び専らその職務に従事するイの(2)又は(3)に掲げる者のいずれか一人	<p>従うべき基準</p>	<p>国基準どおり</p>	<p>国の基準に従って同様の内容を規定する。</p>
担当する区域における第一号被保険者の数	人員配置基準												
おおむね千人未満	イの(1)から(3)までに掲げる者のうちから一人又は二人												
おおむね千人以上二千人未満	イの(1)から(3)までに掲げる者のうちから二人（うち一人は専らその職務に従事する常勤の職員とする。）												
おおむね二千人以上三千人未満	専らその職務に従事する常勤のイの(1)に掲げる者一人及び専らその職務に従事するイの(2)又は(3)に掲げる者のいずれか一人												

同条	基本方針	<p>二 法第百十五条の四十六第四項の規定により、地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数以外の事項について市町村が条例を定めるに当たって参酌すべき基準 次のイ及びロに掲げる基準</p> <p>イ 地域包括支援センターは、前号イに掲げる職員が協働して包括的支援事業を実施することにより、各被保険者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、法第二十四条第二項に規定する介護給付等対象サービスその他の保健医療サービス又は福祉サービス、権利擁護のための必要な援助等を利用できるように導き、各被保険者が可能な限り、住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができるようにしなければならないこと。</p> <p>ロ 地域包括支援センターは、当該市町村の地域包括支援センター運営協議会の意見を踏まえて、適切、公正かつ中立な運営を確保すること。</p>	参酌すべき基準	国基準どおり	<p>国の基準を参酌して検討した結果、国の基準は理念的な方針を定めたものであり、本町の実情と相違ないため国の基準とすることが適切。</p>
----	------	---	---------	--------	---